

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 引当金の計上基準

退職給付引当金：職員の退職給付の支給に備えるため、期末退職給与の自己都合要支給額に相当する金額を計上している。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
退職給付引当資産	2,700,000	300,000	0	3,000,000
合 計	2,700,000	300,000	0	3,000,000

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
特定資産				
退職給付引当資産	3,000,000	(0)	(0)	(3,000,000)
合 計	3,000,000	(0)	(0)	(3,000,000)

4. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	2,700,000	300,000	0	0	3,000,000

※ 基本財産に該当する財産はありません

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細は、財務諸表に対する注記2に記載しているため記載を省略する。

2. 引当金の明細

引当金の明細は、財務諸表に対する注記4に記載しているため記載を省略する。